音楽研究科・カリキュラムツリー

音楽研究科ディプロマ・ポリシー

大学院3ポリシーのもと、音楽研究科では、ひとりの芸術家として時代の潮流に流されることなく利害を超えて自らの役割を果たす、音楽を通して他者と深く共感する人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、修了要件を満たした人に対して修士（音楽）の学位を授与します（A. 修士作品・修士副論文、または修士演奏・修士副論文。あるいはB. 修士作品・最終試験、または修士演奏・最終試験）。

1. プロフェッショナルな芸術観や音楽表現技術を体系的に備え、それらを活かした研究者、作曲家、演奏家、指導者になる能力
2. 音楽の持つ共感力を理解する人格的教養を備え、音楽の知識や音楽で表現する事の素晴らしさを自らの実践によって社会に伝える能力
3. 芸術について主体的に学び続ける姿勢を備え、音楽活動の新たな企画を創造する能力
4. 音楽を通じてさまざまな共演者や聴衆と交流、交感できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理的意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くす能力

音楽研究科では上記のような能力を修得して所定の単位を取得すること。その際特に、音楽研究科修了試験において公開演奏会の形式で修了演奏または修了作品を発表し、専門教員全員と外部から招聘した審査員による評価を受けることが求められます。優秀な成績を収めた学生には、学外で開催する修了披露演奏会に出演・発表する機会が与えられます。

		1年次	2年次	修了試験
必修科目	共通必修	音楽表現総合研究I	音楽表現総合研究 II	
	研究領域実技 専門分野別にI.II必修	器楽実技I 声楽実技I 作曲実技I	器楽実技 II 声楽実技II 作曲実技II	A: 専門実技+副論文 ■作曲分野　■器楽・声楽分野 ・修士作品　・修士演奏 ・修士副論文　・修士副論文
	専門分野特論 専門分野別にI.II必修	創造芸術特論I（作曲分野） 演奏芸術特論I（器楽・声楽分野）	創造芸術特論II（作曲分野） 演奏芸術特論II（器楽・声楽分野）	
	論文制作	副論文制作I ※全員必修	副論文制作II ※修了試験Aを選択者は必修 ※修了試験Bを選択者は選択	OR
選択科目	音楽表現特別実習	オーケストラ特別実習I ウインド・オーケストラ特別実習I 室内楽特別実習I オペラ特別実習I 副専攻特別実習	オーケストラ特別実習 II ウインド・オーケストラ特別実習II 室内楽特別実習II オペラ特別実習II 副専攻特別実習	B. 専門実技+実技課題＋レポート ■作曲分野　■器楽分野 ・修士作品1　・修士演奏 ・修士作品2　・実技課題 ・レポート　・レポート
		楽書購読I, II	楽書購読 II	
	音楽表現各論	作品分析AB 歌曲研究AB 指導法研究AB キリスト教学 キリスト教音楽		